



2022年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社キ ャ ン デ ィ ル
代表者名 代表取締役社長 林 晃 生
(コード番号：1446 東証スタンダード)
問合せ先 取締役(管理管掌) 藤 原 泉
(TEL. 03-6862-1701)

株式会社サカイ引越センターとの資本業務提携契約の締結、当社株式の売出し 並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

当社は、2022年8月12日開催の取締役会において、株式会社サカイ引越センター（以下「サカイ引越センター」といい、当社とサカイ引越センターを総称して「両社」といいます。）との間で、資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）契約を締結することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本資本業務提携に関連して、2022年8月12日付で当社の主要株主である筆頭株主の新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合とサカイ引越センターとの間で、新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合が保有する全ての当社普通株式をサカイ引越センターへ譲渡（以下「本株式譲渡」といいます。）することが合意されたことを確認いたしました。本株式譲渡は有価証券の売出しに該当いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

加えて、本株式譲渡により当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動（以下「本異動」といいます。）が見込まれますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 本資本業務提携について

(1) 業務提携の目的・理由

当社グループは、純粋持株会社である当社及び連結子会社4社で構成されており、「革新創造」を社是とし、「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」というグループ理念のもと、建築サービス関連事業を主たる事業として取り組んでおります。当社グループの建築関連ノウハウ、人的資本、ITテクノロジーを最大限活用して建物の修繕・改修・維持・管理を行うことで建物のライフサイクルをサポートし、これからの日本の建築関連市場の変化に資するサービスを提供し社会的使命と責任を果たすことを目指して事業を推進しております。

サカイ引越センターグループは、サカイ引越センター及び子会社15社により構成されており、一般貨物自動車運送事業のうち引越運送事業、それに付随する業務、電気工事事業、クリーンサービス事業並びにリユース事業を主とした事業活動を行っております。サカイ引越センターグループは、「CSRの追求」を経営の基本方針に掲げて事業活動を進めており、中でも「株主満足度の向上」を優先事項と受けとめ、その実現のため、高い成長力、高い収益力を備えた活力ある企業造りを目指しております。また、営業拠点の展開がサカイ引越センターグループの成長の鍵を握るものとの考えのもと、人口移動の多い地域である関東地区を中心に、人口密度が高く将来の市場性が見込める地区にも拠点を設置し引越需要の確保を目指しながら、引越サービスの向上、技術開発提供による他社との差別化に取り組んでおります。

このような中、両社は、建物のメンテナンス（修繕・改修・維持・管理）事業における強みを有する当社グループと、引越運送事業における強みを有するサカイ引越センターが、それぞれの経営資源を相互に活用し、次世代サービスの構築につながる中長期的な取り組みを進めることによる両社の事業拡大と発展の推進を目的として、本資本業務提携を行うことといたしました。

(2) 業務提携の内容等

①業務提携の内容

両社は、両グループが保有する経営資源やノウハウを相互に活用し、両グループが展開する事業の拡大及び発展を図ることを主たる目的として、主に以下の事項について協議・検討を行なっております。

- i. 当社グループによるサカイ引越センターの引越運送事業に対する成長に向けた取り組み
 - ・サカイ引越センターに対する見積依頼の促進にむけた運用体制の構築
 - ・当社グループが展開する事業の顧客に対する引越運送ニーズの創出及び送客
 - ・当社グループが展開するリペアサービス及びリフォームサービスの提供
 - ・組み立て家具のサカイ引越センターが対応不可とする組み立てサービスの提供
 - ・その他、サカイ引越センター及び当社が別途合意した当社グループが展開する各種サービスの提供

- ii. サカイ引越センターによる当社グループのリペア事業及びリフォーム事業に対する成長に向けた取り組み
 - ・当社グループに対する見積依頼及び、サカイ引越センターから当社グループへの作業依頼の促進にむけた運用体制の構築
 - ・サカイ引越センターが展開する事業の顧客に対するリペアニーズ及びリフォームニーズの創出及び送客
 - ・中長期的なリフォームサービスの拡大に向けた運用体制の構築
 - ・その他、サカイ引越センター及び当社が別途合意したサカイ引越センター及びサカイ引越センターの関連会社が展開する各種サービスの提供

- iii. その他、サカイ引越センター及びサカイ引越センターの関連会社と当社グループの企業価値向上に向けた取り組み
 - ・サカイ引越センター及びサカイ引越センターの関連会社と当社グループの事業発展への寄与を目的とした人事交流
 - ・サカイ引越センター及びサカイ引越センターの関連会社と当社と当社グループが展開する事業のノウハウ等を活用した新規事業の創出

②サカイ引越センターによる当社普通株式の取得

本株式譲渡により、新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合が保有する当社普通株式2,521,200株（議決権所有割合 27.51%）を市場外の相対取引によりサカイ引越センターが取得する見込みです。詳細は、「2. 株式の売出しについて」をご参照ください。

③提携推進委員会の設置

両社は、業務提携の具体化、深化その他更なる発展の可能性等について継続的に検討及び協議を行うことを目的として、提携推進委員会を設置することについて合意しております。

④役員の派遣

本資本業務提携において、サカイ引越センターは当社に対し取締役候補者（以下「サカイ引越センター指名者」といいます。）1名を推薦することができ、当社は当社株主総会において、サカイ引越センター指名者を候補者に含む取締役選任議案を付議することについて合意しております。

(3) 本資本業務提携の相手先の概要

① 名 称	株式会社サカイ引越センター			
② 所 在 地	大阪府堺市堺区石津北町 56 番地			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田島 哲康			
④ 事 業 内 容	引越運送、引越付帯サービス業務			
⑤ 資 本 金	4,731 百万円 (2022 年 3 月 31 日現在)			
⑥ 設 立 年 月 日	1979 年 9 月 19 日			
⑦ 大株主及び持株比率 (2022 年 3 月 31 日現在)	株式会社アーイ	35.66%		
	MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND (常任代理人 香港上海銀行)	11.32%		
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5.93%		
	田島 通利	5.67%		
	BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱 UFJ 銀行)	5.48%		
	田島 哲康	4.95%		
	サカイ引越センター従業員持株会	3.18%		
	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2.49%		
	株式会社カストディ銀行 (信託口)	1.53%		
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1.35%		
⑧ 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	当社グループは、当該会社にリペア、家具組み立てのサービスを提供しております。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
⑨ 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期
連結純資産		65,559 百万円	72,125 百万円	75,948 百万円
連結総資産		93,245 百万円	99,488 百万円	103,542 百万円
1 株当たり連結純資産		3,193.00 円	3,513.12 円	3,735.83 円
連結売上高		100,859 百万円	100,333 百万円	103,884 百万円
連結営業利益		11,184 百万円	11,132 百万円	10,790 百万円
連結経常利益		11,527 百万円	11,728 百万円	11,286 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益		8,951 百万円	7,697 百万円	6,711 百万円
1 株当たり連結当期純利益		435.95 円	374.93 円	327.87 円
1 株当たり配当金		60.00 円	80.00 円	90.00 円

(4) 日 程

① 取締役会決議日	2022 年 8 月 12 日
② 契約締結日	2022 年 8 月 12 日
③ 本株式譲渡の実行日	2022 年 8 月 15 日 (予定)

(5) 今後の見通し

本資本業務提携は、当社グループの業績を中長期的に拡大させ企業価値の向上に資するものと考えておりますが、2022年9月期連結業績に与える影響は軽微なものと見込んでおります。今後、適時開示が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想 (2021年11月12日公表分) 及び前期連結実績

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2022年9月期)	11,727	261	241	72
前期連結実績 (2021年9月期)	11,220	63	36	△72

2. 株式の売出しについて

(1) 売出要領

① 売 出 株 式 数	当社普通株式 2,521,200 株
② 売 出 価 格	1株につき521円 売出価格については、売買当事者間における協議の上、決定されております。
③ 売 出 価 額 の 総 額	1,313,545,200円
④ 売 出 株 式 の 所 有 者 及 び 売 出 株 式 数	新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合 2,521,200株
⑤ 売 出 方 法	新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合によるサカイ引越センターに対する、市場外の相対取引による当社普通株式の譲渡
⑥ 申 込 期 間	2022年8月12日
⑦ 受 渡 期 日	2022年8月18日 (予定)
⑧ 申 込 証 拠 金	該当事項はありません。
⑨ 申 込 株 式 数 単 位	該当事項はありません。
⑩ そ の 他	上記については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を関東財務局長宛に提出しております。

(2) 売出しの目的

上記「1. 本資本業務提携について」に記載のとおり、本資本業務提携に伴い、サカイ引越センターは、当社の主要株主である筆頭株主の新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合との間で株式譲渡契約を締結し、同契約に基づき、当社普通株式2,521,200株を取得する予定であるため、関係法令の定める手続きとして、売出しによる譲渡を行うことを目的とするものであります。

3. 当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動

(1) 異動年月日

2022年8月18日 (予定)

(2) 異動が生じる経緯

上記「1. 本資本業務提携について (2) 業務提携の内容等 ②サカイ引越センターによる当社普通株式の取得」をご参照ください。

(3) 異動する株主の概要

・主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社でなくなる株主

① 名 称	新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合	
② 所 在 地	東京都中央区日本橋室町二丁目4番3号	
③ 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合契約に関する法律	
④ 業務執行組合員の概要	名 称	新生クレアシオンパートナーズ株式会社
	所 在 地	東京都中央区日本橋室町二丁目4番3号
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 松原 一平 代表取締役 猪鼻 隆行
	事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用及び管理
	資 本 金	16 百万円
⑤ 上 場 会 社 と 相 手 先 の 関 係	上場会社と相手先との出資の状況	当社普通株式 2,521,200 株（議決権所有割合 27.51%）を保有しております。
	上場会社と業務執行組合員の関係	該当事項はありません。

・新たに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社となる株主

① 名 称	株式会社サカイ引越センター
-------	---------------

詳細は、「1. 本資本業務提携について (3) 本資本業務提携の相手先の概要」をご参照ください。

(4) 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

①主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当しないこととなる株主

新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合

	属性	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異 動 前 (2022年8月12日現在)	主要株主である 筆頭株主及び その他の関係会社	25,212 個 (2,521,200 株)	27.51%	第1位
異 動 後	—	—	—	—

②新たに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当することとなる株主
株式会社サカイ引越センター

	属性	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異 動 前 (2022年8月12日現在)	—	—	—	—
異 動 後	主要株主である 筆頭株主及び その他の関係会社	25,212 個 (2,521,200 株)	27.51%	第1位

(注) 1. サカイ引越センターの異動後の所有株式数は、新生クレアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合より連絡を受けた取得予定株式数を元に算出した数値であります。

2. 総株主の議決権の数に対する割合は、小数点第三位を四捨五入により計算しております。

3. 総株主の議決権の数に対する割合は、2022年7月31日現在の発行済み株式総数
(10,734,200 株) から議決権を有しない株式 (1,570,000 株) を控除して算出しております。

(5) 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無等

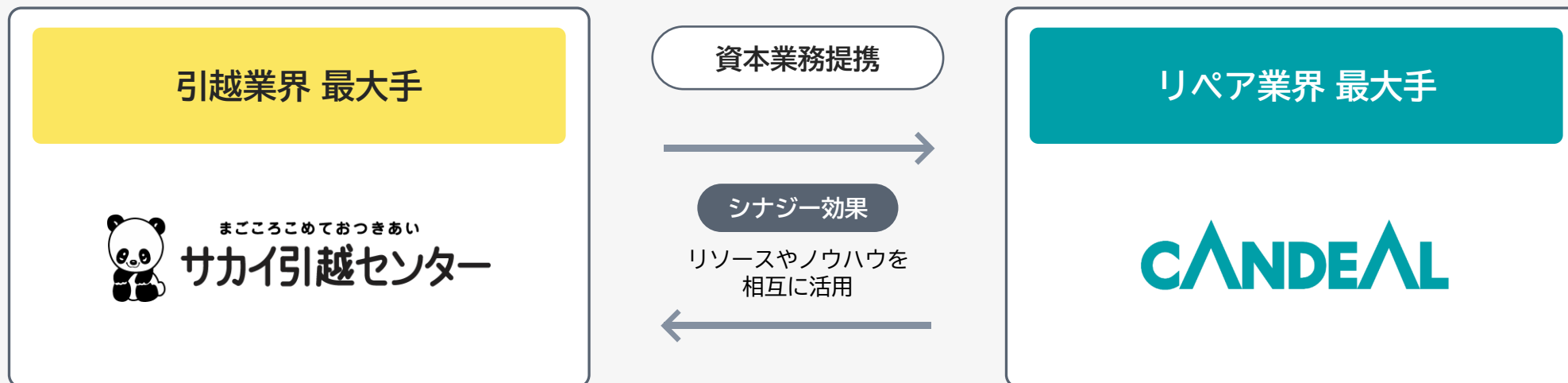
本株式譲渡に伴い、サカイ引越センターは、当社のその他の関係会社となりますが、同社は、東京証券取引所に上場しておりますので、開示対象となる非上場の親会社等には該当しません。

(6) 今後の見通し

本異動が当社グループの業績及び経営体制へ与える影響は軽微なものと見込んでおります。

両グループの事業拡大と発展を目的とした資本業務提携

両グループの強み・ノウハウを相互に活用し、両社によるシナジー創出で次世代サービスの構築を目指す

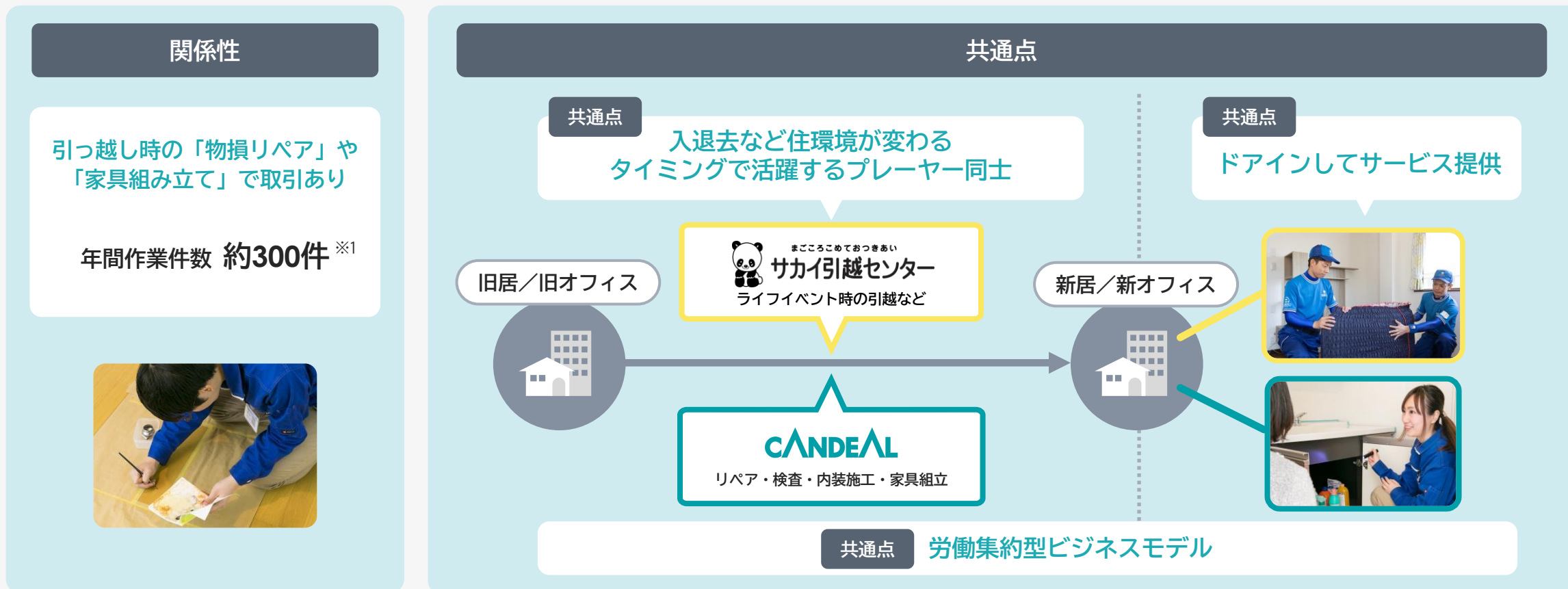


資本業務提携 内容

- ①サカイ引越センターは、当社の主要株主である筆頭株主の新生クリアシオンパートナーズ2号投資事業有限責任組合が保有する当社普通株式 2,521,200株（議決権所有割合 27.51%）を取得する見込み
- ②両グループが保有する経営資源やノウハウを相互に活用し、両グループが展開する事業の拡大及び発展を図ることを主たる目的として、主に以下の事項について協議・検討を行う
 - ▶ キャンディルグループによるサカイ引越センターの引越運送事業に対する成長に向けた取り組み
 - ▶ サカイ引越センターによるキャンディルグループのリペア事業及びリフォーム事業に対する成長に向けた取り組み
 - ▶ その他、サカイ引越センター及びサカイ引越センターの関連会社とキャンディルグループ両社の企業価値向上に向けた取り組み

※資本業務提携の詳細は、2022年8月12日開示の「株式会社サカイ引越センターとの資本業務提携契約の締結、当社株式の売出し並びに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」をご確認ください

これまでの「関係性」と「共通点」により、引越業界との親和性を感じ
両グループにメリットのあるシナジー効果などの可能性があると考え、資本業務提携に至る



シナジー効果 / 事業フィールドの拡大 / ケイパビリティのアップデート / 労働力のシェア などの可能性

第一弾として、効果の出やすい引っ越し時の「物損リペア対応体制」の構築を進める

第二弾以降で、共同での商品開発や拡販、相互送客システムの構築、オフィス分野への取り組みなどを推進予定

